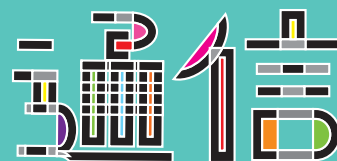


Office of Promoting Gender Equality in Tokyo Gakugei Univ.

Vol. 21  
June. 21



## 「男女共同参画推進計画に関する調査」を実施しました

本学が科学技術振興機構の女性研究者研究活動支援事業に採択されたことを機に、2011年12月～2012年1月、本学の男女共同参画推進計画を見直すための調査を実施しました。

### ■ 出産・育児・介護に関連する就業・休業規則についての認知度の実態

出産・育児に関わる就業・休業規則のうち、「産後休暇(事業主の義務、有給)」「産前休暇(取得者の希望による、有給)」「育児休業(3歳未満、無給、子が1歳になるまでの間、給与の5割程度の給付金が雇用保険から支給)」は過半数と高い一方で、「未就学の子のための看護休暇(5日/年、二人以上の場合は10日/年、有給)」「妊娠中及び3歳未満の子を養育している場合、時間外勤務・深夜勤務・休日勤務の制限」「未就学の子を養育している場合、深夜勤務の制限」の認知度は低いことがわかりました(図1)。また、出産・育児の就業・休業規則と比較して、介護に関わる就業・休業規則(「要介護状態にある家族のための特別休暇(5日/年、介護される家族が二人以上の場合は10日/年、有給)」「要介護状態にある家族のための介護休業(6か月以内、無給、3か月を限度として給与の4割程度の給付金が雇用保険から支給)」)の認知度は低く、特に「要介護状態にある家族のための介護部分休業(4時間以内/日、無給)」は低い結果となりました(図2)。

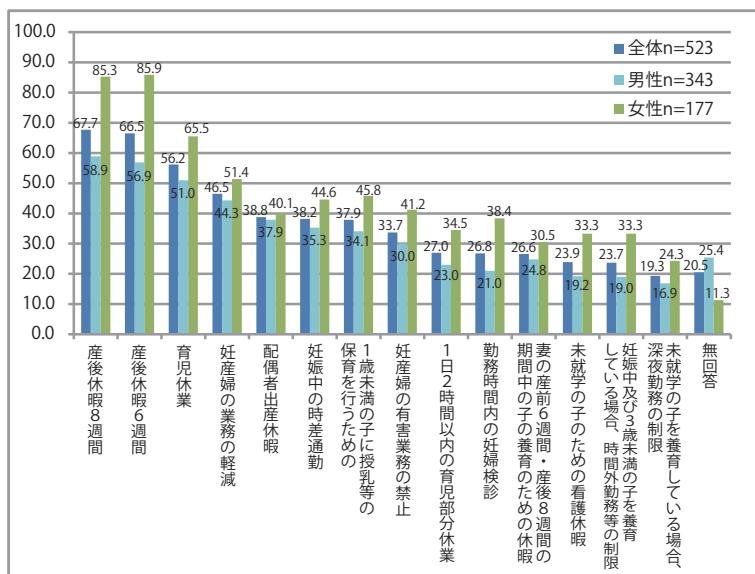


図1 出産・育児に関連する就業・休業規則に関する認知度(複数回答)

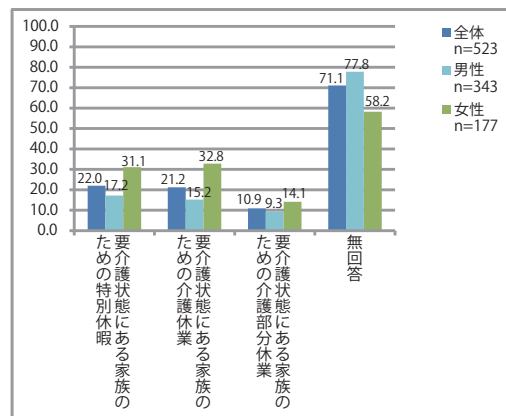


図2 介護中の就業・休業規則に関する認知度(複数回答)

### ■ 男女共同参画を推進するためのニーズ

男女共同参画推進本部に期待する男女共同参画推進計画について尋ねたところ、「育児支援」が回答者の過半数を超え、次いで「介護支援」と、育児・介護支援の必要性が高いことが明らかになりました。育児支援のために必要な取り組みとしては、過半数の回答者が「残業の削減などによるワークライフバランスの推進」を挙げており、特に大学と附属学校園の女性教員の回答者比率が突出していることから、女性教員にとって、ワークライフバランスの推進が重要であることが示されました。また、介護支援のために必要な取り組みとして、現在の介護休業制度で十分であると考えている回答者は全体の1.5%と極めて少なく、「介護休業の有給化(給与の給付)」や「介護休業の有給化(少なくとも社会保険料分程度の支給)」を挙げた回答者は過半数前後に上ることから、経済的保障を充実させた介護制度に対するニーズの高さを示していました。

本調査では、本学の多くの教職員が、日々の仕事量が多く、仕事と生活との両立が難しいと感じている実態が明らかになりました。性別に関わらず、働き続けやすい職場・研究環境を整備し、ワークライフバランスを推進することは、本学の男女共同参画の重要な課題であると思われます。なお、本調査結果報告の詳細は『2012年版男女共同参画白書』『女性研究者研究活動支援事業2011年度事業報告書』に掲載しており、男女共同参画支援室のウェブサイトからダウンロードして頂けます。

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/08about/data.html>

(男女共同参画支援室 成定洋子)



## メンター制度をぜひご利用ください

2月のFD研修会を受け、女性教員・女子学生（院生）を対象としたメンター制度がいよいよ立ち上がりました。本学では、企業や大学における人材育成や青少年問題等への対応として脚光を浴びているメンタリングをメンター制度として導入し、横にも縦にもつながる機会が非常に少ない女性研究者を心理的・実質的に支えて、女子学生の研究・教育活動の継続を推進することを目指します。

### メンタリングの流れ

	メンター(助言者)	メンティ(利用者)	支援室
メンター登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>FD研修、eラーニングで情報収集</li> <li>メンター制度の手引きメンター編を読む</li> <li>メンター登録</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の提供</li> </ul>
申込&マッチング		<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの入力フォームで申込み</li> <li>メンター制度の手引きメンティ編を読む</li> <li>希望のメンターが未定の場合、支援室に相談し決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申込み受付、資料の提供</li> <li>希望が未定の場合、メンティのニーズとメンターの得意分野をもとにマッチング、メンティに候補者を提示</li> </ul>
メンター受諾	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援室から連絡</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>メンターに連絡し可否を確認</li> </ul>
メンタリング開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンティに連絡し初回を設定、日程を支援室に連絡</li> <li>メンタリング実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンタリング利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回と、必要に応じそれ以降のスケジュール管理</li> </ul>
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目終了時に支援室に報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>進捗管理</li> </ul>
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、メンタリングに関する相談を支援室にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、メンタリングに関する相談を支援室にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンター、メンティに支援室からサポートを提供</li> </ul>
メンタリング終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援室に終了報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>進捗管理</li> </ul>

制度を利用したメンティからは「とてもよかったです。非常に親身に、必要な情報、方法を教えて下さって、前向きなコメントを沢山いただきました。メンターが同じ大学にいらっしゃるというのは本当に心強くて、大学の中で居場所が一つ増えた気がします。カウンセラーがメンターの先生方にインタビューされて、単に機械的なマッチングではないという安心感がありました。また利用したいですし、他の方にも勧めます」、メンターからは「間に支援室が入って、前情報があることによって気持ちの準備ができました。メンタリングは楽しかったですよ。自分自身勉強になりました。メンティの方の研究テーマについて、全く知らなかったし、視野が広がって、新鮮でした。メンターはまたいつでもやりますよ」とコメントをいただきました。

すでに多くの教員や卒業生の方たちが、メンターとして登録してくださっています。メンター、メンティの申し込みは、支援室ホームページからできます。こちらでは利用者のインタビュー全文もご紹介しています。それ以外のお問い合わせ等につきましては、支援室までご連絡ください。メンター制度の積極的な活用を、どうぞよろしくお願いいたします。

(男女共同参画支援室 八木亜紀子)



## 男女共同参画支援室からのお知らせ

### ◆ 第13回男女共同参画フォーラムを開催します ◆

平成23年度OPGE助成報告会が下記の日程で開催されます。ぜひご参加ください。

日時：平成24年6月27日（水）15：00～17：00

場所：S403教室（東京学芸大学 講義棟5棟4階）

## ■ 補助員制度

平成 24 年度第 1 期「育児・介護支援研究補助員制度」の利用が 7 件承認され、12 名の研究補助員が起用されました。また、女子学生の比率が 30%未満であった教室において同比率が 30%以上になった際に補助員が配置される「授業補助員配置制度」の利用も 1 件承認され、生涯スポーツ教室に 1 名の授業補助員が起用されました。

平成 24 年度第 2 期「育児・介護支援研究補助員制度」および「女性研究者採用講座・センターへの研究補助員配置制度」の募集期間は 7 月～9 月の予定です。詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/01hojo/>

## ■ 男女共同参画白書・事業報告書・フォーラム報告書を刊行しました

『2012 年版 東京学芸大学男女共同参画白書 一女性研究者研究活動支援に向けて一』『女性研究者研究活動支援事業 2011 年度事業報告書 一学芸の森が育てる女性の力一』『女性研究者研究活動支援事業 キックオフフォーラム報告書』が刊行されました。これらの刊行物は全文を以下の URL からダウンロードしていただけます。

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/08about/data.html>

## ■ リーフレットを発行しました

各種特別休暇、労働・就業制限等の勤務条件や、育児・介護中の教職員や学生を対象とした本学における様々な制度やサービス等に関する情報をまとめた、「出産・育児関連情報リーフレット」と「介護関連情報リーフレット」を作成しました。「男女共同参画支援室のご案内」「相談サービスのご案内」「メンター制度の手引き」と合わせてご活用ください。以下の URL からダウンロードしていただけます。

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/08about/data.html>



## 平成 24 年度 (2012 年度) OPGE 助成事業

9 件の応募があり、審査の結果以下の 3 件が採択されました。

申請代表者	所属	活動題目	交付金額
林 尚示	総合教育科学系	職場での働き方と性差への意識に関する教材の開発について	200,000
三石 初雄	教員養成カリキュラム開発研究センター	小学校教員の理科の授業づくりにおける男女差に関する調査研究	300,000
田島 宏一	附属大泉小学校	小学校体育科における児童の意識調査と男女共修の意義	340,000
		計	840,000



## ∞の会 (無限の会) 近況

本学の女性教員を対象としたランチ会「∞の会」が、5 月 8 日(火)および 6 月 8 日(金)に開催されました。

5 月 8 日の会には学長も出席され、補助員制度、理数系女子学生を増加するための方策、近年の学生の傾向などに関する活発なディスカッションが行われました。

6 月 8 日の会では、学童保育や男女共同参画週間 (6 月 23 日～29 日) 等についての会話が弾み、女子学生の増加のためには学内の安全性の確保とトイレの清潔さの向上が重要であるという意見があげられました。

次回は 11 月 8 日(木)に開催されます。女性教員の皆様、ぜひご参加ください。





## 子育て中教員の交流会を開催しました

5月23日(水)に、第1回「子育て中教員の交流会」が行われました。

子育て中の教員同士が気軽に交流や情報交換をする場所を提供することを目的としたこのランチ会には女性教員11名、男性教員3名が参加しました。保育園の運営、休日勤務時の保育の問題、育休の取り方や育休中の研究などの難しさ、妊娠・育児中の教員に対するハラスメントに関する意識啓発の必要性、育児・介護中の委員会任務などの負担、海外などへの出張の際の子どもの保育など、実体験に基づいた様々な要望や意見があがりました。



今後数ヵ月に1回のペースで開催していく予定です。男女共同参画支援室のホームページなどでお知らせしますので、子育て中の教員の皆様はぜひご参加ください。

今後数ヵ月に1回のペースで開催していく予定です。男女共同参画支援室のホームページなどでお知らせしますので、子育て中の教員の皆様はぜひご参加ください。

## 新任女性教員向け説明会を開催しました

5月30日(水)に、本学着任3年以内の女性教員6名を対象として、男女共同参画支援室のメンター制度および相談サービスの説明会を開催しました。和やかな雰囲気の中、メンター制度利用者の体験談も交えながら本学の男女共同参画の取り組みと支援室の活動について説明しました。学系やセンターの枠を越えて、新任者としての苦労などが語られました。お互いほとんど面識がないとのことでしたので、今後のネットワーク作りのきっかけとしていただければと思います。



## カウンセリングと相談サービス 男女共同参画支援室 八木亜紀子

日本ではまだまだ馴染みの薄いカウンセリング、と思っていたら、最近では化粧品売り場や美容院、住宅のリフォームまで、さまざまなサービス業の入り口部分に「カウンセリング」が付いてくるようです。一般的にはこれらはカウンセリングを勉強した人ではなく、そのあとについてくる商品やサービスの専門家によって行われます。世の中に「カウンセリング」があふれる事情を踏まえて、このたび男女共同参画支援室で相談サービスが導入された意義を考えてみました。

支援室の相談サービスでは、「ライフイベントと研究活動を両立させるための支援」としてカウンセリングを提供しています。ライフイベントとは人生に起きる出来事のことです。結婚、離婚、出産、育児、介護、転職、引越など、様々な出来事でわれわれは日常生活のバランスの修正を余儀なくされます。普段であれば問題なくこなせる課題も、タイミング次第で難しいこともあるでしょう。そんな時に、ちょっとした作戦会議のために使っただけカウンセリング、それが相談サービスです。カウンセリングはもともと、臨床心理学やソーシャルワークを学んだ専門職が行う相談援助です。専門職が単純にアドバイスや助言を提供するというより、利用者本人が問題解決に臨めるよう、後押しすることを目指します。美容師であれば、似合う髪型を薦めてスタイリングしてくれますが、カウンセラーが、言いたいことが言えないと悩んでいる利用者に代わって話をつけに行く、ということは滅多にありません。過去のやり取りを振り返って、本人が上司に意見できるようロールプレイ等をやって準備を手伝い、本番でうまくいってもそうでなくても結果を分析して次に備えるお手伝いをします。簡単に答えをもらうよりも、自分の引き出しを増やすことで、カウンセリング終了後に利用者がその成果を生かせる可能性は高くなるからです。

相談サービスの利用者の方からは、「悩みがあっても、カウンセリングをやったことがない人は、どこから始めていいかわからないですね。なので、学内にこういったサービスが存在していることはありがたいと思います。カウンセラーとはリラックスした雰囲気です話やすかったです。友達や家族、知り合いに相談するのは違った形で相談できました。」という感想をいただきました。

相談サービスの申し込みは、支援室ホームページからできます。また、気軽にご利用いただくため、お役立ち情報などを『相談サービスだより』として配信しています。相談サービスの積極的な活用を、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【人事課職員係のお問い合わせ先】

人事課職員係 清水

内線：7123

E-mail: syokuin@u-gakugei.ac.jp

FAX: 042-329-7127

東京学芸大学男女共同参画推進本部

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL: 042-329-7108 FAX: 042-329-7114 E-mail: danjo@u-gakugei.ac.jp

URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/> 詳しい情報等はホームページをご覧ください。

男女共同参画支援室

TEL/FAX: 042-329-7894 E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp

URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/>

